

平成22年度貝毒プランクトン出現状況 (No. 9)

通報番号 (MG) - (22) - (16)

通報月日 平成22年5月31日

機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	水深 (m)	水温 ()	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備 考 (他 <i>Dinophysis</i> 属の内訳)
					<i>D.fortii</i>	<i>D.acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.	
荻浜内	5/31	0	14.5	30.38	10	10	0	0	
		5	13.7	31.41	10	80	0	0	
		10	12.1	32.30	0	0	0	0	
荻浜沖	5/31	0	14.2	30.58	0	0	10	0	<i>D. infundibulus</i>
		5	12.8	31.61	10	30	10	0	<i>D. rudgei</i>
		10	12.0	32.24	20	30	0	0	
		15	11.3	32.94	0	40	0	0	
塚 浜	5/31	0	14.2	30.27	10	20	30	0	<i>D. infundibulus</i> <i>D. tripos</i>
		5	12.1	32.22	40	20	0	0	
		10	12.4	33.41	0	0	0	0	
		15	12.0	33.27	0	0	0	0	
		20	11.1	33.03	0	0	0	0	
		底	10.7	33.30	0	0	0	0	

底はB-1m(27.0m)

担当:環境資源部 菊地・鈴木・武山
TEL:0225-24-0138,FAX:0225-97-3444

下痢性貝毒プランクトンである*D.fortii*は前回(5月26日調査)と比べて荻浜内湾と沖合で出現数が増加した。
*D.acuminata*は前回(5月26日)と比べて荻浜内湾で増加し、沖合では減少した。
塚浜でも、*D.fortii*、*D.acuminata*が出現した。
また、荻浜内湾、沖合、塚浜で*D.infundibulus*、*D.rudgei*、*D.tripos*が出現した。

麻痺性貝毒プランクトンである*Alexandrium* spp.は出現しなかった。

水温は荻浜湾では内湾、沖合共に底層で前回(5月26日調査)より約2 ほど上昇しています。

現在、宮城県南部海域産ムラサキイガイについては、平成22年5月20日付けで出荷自主規制措置を講じています。